

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
予防及び回復促進2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・夜間部	3年	2期	福永 恭子				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	疾病の成り立ち、予防及び回復の促進			座学	1	10	
科目概要							
<p>リハビリテーション医療ではさまざまな職種が協力して患者の障害を回復へ導き、社会・環境への適応を促進するのを目指す。多職種により提供される専門技術は、逆に健康増進や疾病予防、さらにスポーツや宇宙医学にも活用されている。予防及び回復の促進では主にPT、OT、STが担当する専門技術について、概要を学ぶと同時に補装具や車椅子、義肢などについても基本的な構造や利用法などへ知識を広げ、チームアプローチの現場に立った場合に必要とされる教養と臨床実践家として必要な知識を身に付ける。</p>							
目標							
一般目標 (GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	地域医療において福祉、医療との連携が取れる鍼灸師の養成を目指してチームアプローチ上必須となるリハビリテーションの知識を身に付けるのを目的とする。主に身体障害者福祉法でカバーされる疾患の疫学とリハビリテーションを学ぶ。具体的には理学療法理論と治療プログラム、禁忌事項についてがメインで、並行して作業療法、言語聴覚療法の概要にも触れる。理学療法法の基礎となる運動学についても正常姿勢・正常歩行・バイオメカニクスの基礎理論を習得し、必要に応じて患者等に対して説明出来るようにする。						
	到達目標 (SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	脊髄損傷、切断、小児疾患、骨関節疾患、パーキンソン病、呼吸器疾患、心疾患のリハビリテーションについて4つの選択肢から適切なものを選べるようにする。 運動学の基礎、姿勢、歩行について4つの選択肢から適切なものを選べるようにする。					
履修に必要な予備知識や技能							
教科書・参考書							
受講上の注意							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	リハビリテーションの基本理念、障害と生活のとらえ方を学ぶ			p.1~5	教科書プリント		
第2回	リハビリテーションの分野、障害の種類を学ぶ 小テストを行う			p.6~21	教科書プリント		
第3回	心身機能・身体構造の評価方法を学ぶ 小テストを行う			p.22~37	教科書プリント		
第4回	活動の評価方法を学ぶ 小テストを行う			p.38~44	教科書プリント		
第5回	運動の評価方法、高次脳機能の評価方法を学ぶ 小テストを行う			p.45~50	教科書プリント		
第6回	理学療法について学ぶ 小テストを行う			p.51~60	教科書プリント		
第7回	作業療法、言語聴覚療法、補装具療法を学ぶ 小テストを行う			p.61~79	教科書プリント		
第8回	脳卒中について学ぶ 小テストを行う			p.80~97	教科書プリント		
第9回	授業内容を練習問題を用いて総括し、応用知識をつける			p.1~98	教科書プリント		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
fukunaga-t@nihonisen.ac.jp							